



「まちに開かれた芸術文化拠点」を目指す京橋彩区が開催する芸術文化講座。2021年7月(第19回)は「イタリア人はなぜあんなにかっこいいのでしょうか?」です。イタリア・ミラノ在住のビジネスプランナー安西さんをお招きし、日々の生活を豊かにするためのヒントをお話して頂きます。

< 2021年7月(第19回) >

## イタリア人はなぜあんなにかっこいいのでしょうか?

— 日々の生活を豊かにするためのヒント —

イタリア・ミラノ在住のビジネスプランナー安西洋之さんをお迎えし、イタリアの生活や文化、デザインそして日本との違いに至るまで、様々な切り口から語って頂きます。

いすゞ自動車本社でヨーロッパ自動車企業との業務に従事した後、イタリア・トリノのコンサルタント会社で就業後にミラノで独立。デザインを視点においた異文化理解アプローチ、ストックホルム経済大学教授であるロベルト・ベルガンティの唱える「意味のイノベーション」、新しいラグジュアリーのリジックなど、さまざまなテーマでのリサーチ・執筆・講演等の活動をおこなっている安西さんならではのユニークな視点は、きっと私たちの日々の生活を豊かにする大きなヒントをもたらしてくれることでしょう。

**日 時**： 2021年7月21日(水) 18:30～20:00

**会 場**： 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、  
「オンライン講座」としてYouTubeにて配信します。

**参加料**： 無料

**申込方法**： 京橋彩区のお申し込みフォーム  
[https://kyobashi-saiku.tokyo/application/events/gbkoza\\_20210721/](https://kyobashi-saiku.tokyo/application/events/gbkoza_20210721/)  
右上の**リンクボタン**(またはQRコード)よりお申し込みください。

お申し込みフォーム  
(京橋彩区)



※今後の状況により、延期・中止をさせて頂く場合もございますので、あらかじめご承知置きください。

### < 講師 >



#### 安西洋之氏 (イタリア・ミラノ在住 ビジネスプランナー)

モバイルクルーズ株式会社代表取締役 / De-Tales Ltd. ディレクター。  
著書に『ヨーロッパの目、日本の目 文化のリアリティを読み解く』、共著に『デザインの次に来るもの』、最新著書『「メイド・イン・イタリア」はなぜ強いのか?』、監修にロベルト・ベルガンティ『突破するデザイン』。翻訳にエツィオ・マンズィーニ『日々の政治 ソーシャルイノベーションをもたらすデザイン文化』。



#### 増村岳史氏 (アート・アンド・ロジック株式会社代表取締役)

大学卒業後、株式会社リクルート入社。マーケティング、営業を経て映画、音楽の製作および出版事業を経験。リクルート退社後、音楽配信事業に携わったのち、テレビ局や出版社とのコンテンツ事業の共同開発に従事する。2015年アートと人々との間の垣根を越えるべく、誰もが驚異的に短期間で絵が描けるART&LOGIC (アート・アンド・ロジック株式会社) を立ち上げ、現在に至る。著作に「ビジネスの限界はアートで超える」(Discover 21, Inc.)、「東京藝大美術学部 究極の思考」(クロスメディア・パブリッシング)がある。